

Rhythm Designer RD-9 クイックマニュアル

Rhythm Designer RD-9 の使用方法について、項目ごとにご説明していきます。

各セクションごとの呼び方や、基本的なツマミの動作などについては添付されているクイックスタートガイド（QSG）をご参照ください。

目次

パターンを作成する (Step Mode)	3
基本的な 16 ステップパターンを作成する方法	3
Auto Save 機能について	4
パターンを保存する方法(マニュアルモード)	4
パターンをコピーする方法	4
Live Data と Stored Data	5
パターンを削除する方法	5
パターンを DUMP する方法	5
Auto Fill について	5
パターンレンジ	5
パターンのステップ数を変更する方法	5
～パターンを再生する (Pattern Mode) ～	6
Step Repeat	6
Note Repeat	6
Track Mute	6
Track Solo	7
～SONG を作成する (Pattern Chaining Mode) ～	7
パターンの連結方法	7
作成した SONG を保存する方法	7
作成した SONG を削除する	8
～曲を作成する (Song Mode) ～	8
曲を変更する方法	8
曲を Chain する方法	8
～Wave Designer～	9
Wave Designer に信号を割り当てる方法	9

～Analog Filter～	10
CUTOFF オートメーション化の方法	10
CUTOFF オートメーションを手動で設定する	10
Analog Filter の LIVE モード	10
～Poly～	11
Poly の設定方法	11
～RAND(RANDOM)～	11
RAND の設定方法	11
～PROB(Probability)～	12
PROB の設定方法	12
～FLAM～	12
FLAM の設定方法	12
～RPT(NOTE REPEAT)～	13
RPT の設定方法	13
～STEP SIZE～	13
STEP SIZE の変更方法	13
～Setting について～	13

パターンを作成する (Step Mode)

パターン作成には最大で 64 ステップを使用することができます。

基本的な 16 ステップパターンを作成する方法

1. SONG を選択します
2. PATTERN ボタンを押し、Step キー 1-16 のいずれかを押します。(パターンの保存先となります。)
3. STEP ボタンを押します。
4. DATA エンコーダーで希望するテンポを設定します。
5. REC ボタンを押します。
6. 最初に REC する VOICE (BASS DRUM や SNARE など任意の物) を選択します。
7. 1-16 の中で任意の Step キーを押すと、LED で点滅します。赤色で点滅しているステップには選択している VOICE が録音されました。再生ボタンを押すと白い LED が STEP キー上を動きます。この LED は再生ヘッドとなり、現在再生されている位置になります。録音したい VOICE のリズムに合わせて TRIGGER パッドを押すことでも、録音をすることができます。
任意の VOICE に ACCENT を追加したい場合は、点滅している STEP を再度押します。LED が赤色で点灯したら選択している VOICE のその STEP には ACCENT が追加されました。(※この ACCENT は FIXED ACCENT に分類され、ACCENCT ノブの影響を受けない固定量のアクセントです。)
全ての VOICE に適用される GLOBAL ACCENT を追加する場合には、TAP/HOLD を押しながら任意の STEP を選択します。
その STEP の白い LED が点灯します。
この GLOBAL ACCENCT は ACCETN ノブで量を調整できます。
8. 別の VOICE を選択し、同じように現在のパターンに追加します。
9. REC ボタンと STOP ボタンを押すことで、パターンの再生と録音を停止できます。

VOICE 内の STEP を OFF にする際は、手順 7 内で赤く点滅している STEP を 2 回押すか、赤く点灯している STEP を 1 度押します。

再生中に TAP/HOLD を押しながら特定の VOICE を押し続けると SWEEP ERASE となり、再生ヘッドに合わせてその VOICE の STEP が削除されます。

または、ERASE を押しながら特定の VOICE を押すことでその PATTERN 内に保存されている STEP がすべて削除されます。

(いずれの場合でも、RECORD モードになっていない場合は、PATTERN が頭に戻るとその STEP が復活します。)

Auto Save 機能について

Auto Save 機能を使用すると、特定の機能が自動で保存されるようになります。

Auto Save が ON の時、以下の全てのパターン内の変更は、STEP RECORD と同時に保存されます。

1. STEP ボタンによる STEP の ON/OFF
2. TRIGGER ボタンによる STEP の ON
3. LIVE レコードにおける STEP RPT
4. RAND の SETTING メニュー内で行った STEP の ON/OFF
5. PATTERN LENGTH SETTING で行った STEP 数の変更
6. TAP/HOLD を押しながら VOICE 押した際の VOICE の SWEEP ERASE
7. ERASE + VOICE による VOICE の STEP 一括削除
8. STEP コピー

Auto Save を有効にするには、STEP モード内で TAP/HOLD を押しながら、RECORD ボタンを押します。

STEP RECORD が有効になると、ディスプレイに“auto”と 1 秒間表示されます。

“manu”と表示された場合は、マニュアル(手動)モードになっていますので、再度同様の手順を行ってください。

パターンを保存する方法(マニュアルモード)

1. Step Mode でパターンが作成できたら、PATTERN ボタンを押します。
2. SAVE ボタンを押します。
3. 再度 PATTERN ボタンを押します。
4. 白い LED で表示されている SETP キーを選択すると SAVE ボタンが点滅します。
5. SAVE ボタンを押すと確定され、パターンが保存されます。

パターンをコピーする方法

1. COPY ボタンを押します。
2. SONG ボタンを押し、コピーしたい元のパターンが入っている SONG を選択します。
3. 次に PATTERN ボタンを押します。
4. コピーしたい元のパターン番号を選択します。
5. COPY ボタンを押します。
6. STEP キーを使用し、コピー先のパターンを選択します。これにより前述のステップで選択した元パターンが現在の SONG 内の選択したパターンに保存されます。
7. COPY ボタンを押し、確定します。(一度パターンをコピーしてしまった場合、元のパターンは削除され元には戻せません。)

Live Data と Stored Data

SONG モードおよび PATTERN モードでは、2 つの形式のデータが保存されます。

LIVE データ：SONG や PATTERN へ変更が行われ、STORE が行われていない場合に LIVE メモリへ保存されるデータ

STORED データ：STORE が行われた際に保存されるデータ

パターンを削除する方法

1. ERASE を押します。
2. SONG および PATTERN ボタンが点滅しますので、PATTERN ボタンを押します。
3. TAP/HOLD を使用して、STORED データを削除するか、LIVE データを削除するか選択します。
4. 1-16 の STEP ボタンを使用し、削除したいパターンを選択します。
5. ERASE ボタンを押し、パターンを削除します。(一度削除したパターンは元に戻せません。)

パターンを DUMP する方法

パターンの DUMP は DUMP ボタンを押した後、“パターンを保存する”と基本的に同様の動作になります。(SAVE を DUMP に置き換えてご参考ください)

DUMP コントロールはパターンを保存する代わりに、Sysex 信号としてパターンを出力します。

この Sysex 情報は MIDI としてのバックアップ、サードパーティーのプログラム、および別の RD-9 に送信したりして使用できます。

Auto Fill について

Auto Fill を使用するとフィルのリズムをパターンとパターンの間に挿入することができます。

Auto Fill のフィルパターンは通常のパターンと同様に作成/保存をすることができます。(赤色の STEP ボタン 1-4 の 4 つまで)

Auto Fill は通常のパターンと同様最大 64 ステップまでプログラムできます。

使用するにはパターン再生中に AUTO FILL ボタンを押し、あらかじめプログラムした使用したい AUTO FILL ステップを押してください。(AUTO FILL 使用時に次のパターンを選択していない場合は AUTO FILL 後に直前のパターンが繰り返されます。)

パターンレンジ

パターンの長さはパターンごとに 1-64 ステップまで任意に設定可能です。

例えば、1/16 を使用し、12 ステップのパターンレンジを選択すると 3/4 拍子が作成されます。

パターンのステップ数を変更する方法

1. STEP ボタンと REC ボタンを押します。
2. LENGTH ボタンを押します。

3. LENGTH ボタンの横にある<</>>ボタンを使用して、16、32、48、64 の中から任意のステップ数を選択します。
4. 選択できたら、その中で目的のパターン長を選択します。12 ステップにしたい場合は、<</>>ボタンで 16 を選択し、ステップボタンの 12 を押します。64 のレンジを選択した場合は、ステップ 12 を押すと 60 ステップになります。

～パターンを再生する (Pattern Mode) ～

PATTERN ボタンを押し、プレイしたいパターンを選択します。

Step Repeat

この機能は、ライブパフォーマンス中にパターンを変更するため使用できます。

STEP REPEAT がトリガーされると、TRIGGER ボタンが離されるまで、現在のステップが繰り返されます。繰り返されるステップ数は 1、2、4、8 から任意に選択できます。

使用方法

1. STEP REPEAT ボタンを押します。
2. 必要なリピート数を選択します。(1、2、4、8 の中から)
3. パターンの再生中に TRIGGER ボタンを押すとステップが繰り返されます。
4. TRIGGER ボタンを押しながらリピートするステップ数を変更することもできます。
5. STEP REPEAT を再度押すと STEP REPEAT モードを終了します。

Note Repeat

ライブパフォーマンス中にパターンを変換するために使用できます。

Note Repeat がトリガーされると TRIGGER ボタンが離されるまで、現在選択されている VOICE が繰り返されます。(BASS DRUM が選択されていれば BASS DRUM がリピートされます。)

繰り返されるノート数は 1、2、4、8 の中から選択できます。

使用方法

1. NOTEREPEAT を押します。
2. 必要なリピート数を選択します。(1、2、4、8 の中から)
3. パターン再生中に TRIGGER ボタンを押すと選択されている VOICE が繰り返されます。
4. TRIGGER ボタンを押しながらリピート数を変更し、いろいろなフィル効果を作成できます。
5. NOTE REPEAT を押すと終了します。

Track Mute

この機能を使用すると、VOICE を個別にミュートすることができます。

使用方法

1. パターンの再生中に MUTE ボタンを押します。

2. MUTE する VOICE を選択します。
3. MUTE された VOICE が点灯し、他の VOICE は点滅します。
4. MUTE を再度押すと終了します。

Track Solo

この機能を使用すると、VOICE を個別にソロにできます。

使用方法

1. パターン再生中に SOLO ボタンを押します。
2. SOLO にしたい VOICE を選択します。
3. SOLO になった VOICE が点灯し、他の VOICE が点滅します。
4. SOLO を再度押すと終了します。

※SOLO は MUTE よりも優先されます。MUTE されたものを SOLO にするとその VOICE は再生されます。

～SONG を作成する (Pattern Chaining Mode) ～

Pattern Mode を使用し、パターンの再生時に使用可能な 16 のパターンのいずれかをトリガーすることができます。

パターンの連結方法

1. SONG MODE 内で 1-16 いずれかの STEP キーで任意の曲を選択します。
2. PATTERN MODE で REC ボタンを押します。
3. AUTO SCROLL ボタンが消灯し、LENGTH ボタンが点滅している状態で、STEP ボタンを押し、最初のパターンを開きます。
4. LENGTH ボタンを押し、DATA ノブを使用しリピートの回数を選択します。
5. AUTO SCROLL ボタンを押してから、STEP キーのいずれかを押し、次のステップを追加します。
6. AUTO SCROLL ボタンを OFF にします。
7. 必要なパターンが全て入力されるまで手順 3-6 を繰り返します。
8. AUTO SCROLL を ON にし、<</>>を使用することで設定したパターンを前後に移動し、どこまでがプログラムされているかを確認できます。REC ボタンが p されたままの状態、LENGTH ボタンが点灯している場合はディスプレイに再生されているステップ番号が表示されます。

作成した SONG を保存する方法

1. SAVE を押します。
2. SONG を押します。
3. STEP キーを使用し、保存先を選択します。(現在の SONG は白い LED が光っている STEP キーの場所です)
4. SAVE を押し、操作を決定します。

作成した SONG を削除する

1. SONG モードに入ります。
2. ERASE を押します。
3. SONG を選択します。
4. TAP/HOLD を使用して、STORED データを削除するか、LIVE データを削除するか選択します。
5. ERASE を押して操作を完了します。

～曲を作成する (Song Mode) ～

SONG は最大で 16 パターンのコレクションとなっており、ライブ演奏時などに再生および操作が出来ます。

Pattern Chaining Mode(P11)はパターンを置き換え、曲の構成を作成するために使用できます。

合計で 16 曲を保存でき、1 つの曲につき 16 パターンを保存できます。

ユニット内での最大パターン数は 16 曲×16 パターンで 256 パターンまで保存することができます。

曲を変更する方法

1. SONG ボタンを押し、SONG モードに入ります。
2. 1-16 までの STEP キーを使用し、Play/Rec/Edit する曲を選択します。

曲を Chain する方法

1. SONG ボタンを押し、SONG モードに入ります。
2. 1-16 の STEP キーを使用し、最初に再生する曲を選択します。
3. REC ボタンを押すと、次に再生する曲を選択できるようになります。曲の再生中に AUTO SCROLL ボタンを押すと、曲が Chain されます。曲の再生中に別の曲を選択することにより、デフォルト設定を手動で上書きできます。

～Wave Designer～

Wave Designer は Attack や Sustain のツマミでダイナミクスを調整するための非常に強力なツールです。

Wave Designer を使用し、スネアを“クラック”させたり、バスドラムを拡張し更にアタック感のある音にしたりできます。

Attack と Sustain 両方のコントロールを 12 時に設定すると、Wave Designer はバイパス状態になり、その後に Analog Filter 送信される音に影響を与えません。

Attack ノブを調整すると、音にパンチが効いてきます。Sustain ノブを調整するとコンプレッサーと同じように機能します。

Wave Designer に信号を割り当てる方法

1. Wave Designer セクションで SEND ボタンを押します。
2. 各 VOICE の SELECT ボタンを使用して、どの VOICE を送るかを選択します。(SELECT ボタンが点灯している VOICE は信号が送られています。点滅している VOICE は信号が Wave Designer に送られていません。)
3. SEND ボタンを再度押し、確定します。

～Analog Filter～

Analog Filter には Wave Designer を通った後の信号が送られます。

CUTOFF ノブと RESONANCE ノブにより幅広い表現が可能です。

(フィルターの CUTOFF はオートメーション化することができます。※後述)

HPF ボタンが ON になっている場合、フィルターはハイパスフィルターとなり、低域をカットしてくれます。

HPF ボタンが OFF のときはローパスフィルターとなり、高域をカットします。

カットする周波数帯域は CUTOFF ノブで調整します。

RESONANCE ノブは、フィルターのレゾナンスを調整します。

CUTOFF オートメーション化の方法

1. Wave Designer と Analog Filter を ON にして、パターンを再生します。
2. REC ボタンを押します。
3. CUTOFF 周波数を任意に動かします。
4. REC を押して終了します。

(設定された STEP 数の中で CUTOFF のオートメーションを作成してください。設定された STEP を超えると上書きになります。)

Filter のオートメーションはパターンを保存する際、同時に保存されます。(パターンを保存する方法を参照)

また、Filter の CUTOFF オートメーションを STEP ごとに設定することもできます。

CUTOFF オートメーションを手動で設定する

1. SETTING を押します。
2. FEILER (STEP キー6番) を押します。
3. FILTER を設定したい STEP キーを押します。(現在のパターンに設定されている STEP 数が上限となります。)
4. 押した STEP に対し、現在 Filter がどのくらい適用されているのかが画面に 0-255 までの値で表示されます。
5. DATA エンコーダーを回すと数値を任意に設定できます。
6. それぞれの STEP で FILTER の設定が完了したら、SETTING ボタンを 2 回押します。
7. パターンを保存します。(パターンを保存する方法参照)

Analog Filter の LIVE モード

TAP/HOLD ボタンを押したまま、Analog Filter を ON ボタンを押すことで Filter のモードを LIVE モードにすることができます。

LIVE モードの場合、オートメーションで作成された CUTOFF は適用されず、手動で CUTOFF を操作で

きます。

再度オートメーションモードを ON にする場合は、TAP/HOLD ボタンを押しながら Analog Filter の ON ボタンを押します。

※LIVE モードになっている際でもパターン再生中に REC ボタンを押すことで CUTOFF をオートメーション化することができます。

～Poly～

Setting 内の Poly ファンクションでは、VOICE ごとに違うステップ数を設定することができます。

Poly の設定方法

1. Setting ボタンを押します。
2. POLY(STEP KEY 7)を押します。
3. DATA エンコーダーを回し、Poly モードを ON にします。
4. ステップ数を変更したい Voice を選択します。
5. 現在の設定されている STEP は白い LED が点灯します。
6. 設定したいステップ数に応じて任意の STEP キーを押します。(12 ステップにしたい場合は 12 番の STEP キーを押します。32 ステップにしたい場合は LENGTH ボタン横の>>キーで 32 に移動し、16 番目の STEP キーを押します。)
7. 赤色で点滅している LED は使用していないステップとなります。
8. 設定が完了したら Setting ボタンを二回押して終了します。

通常の状態に戻す際は Poly モードを OFF にするか、選択したパターンの長さを元に戻します。

設定が完了したらパターンの保存を行ってください。

～RAND(RANDOM)～

Setting 内の RAND セクションでは、選択した VOICE を選択した STEP に対し、RAND を適用できます。

設定された VOICE および STEP はランダムに再生されます。

RAND の設定方法

1. Setting ボタンを押します。
2. RAND(STEP KEY 8)を押します。
3. SELECT ボタンを使用し、ランダムに再生したい VOICE を選択します。
4. STEP キーを使用し、ランダムを適用する STEP を選択します。(適用されている STEP は LED が赤色に点灯します)
5. 設定が完了したら Setting ボタンを 2 回押して終了します。

RAND 設定を保存する場合は、パターンの保存が必要です。

※RAND 設定はパターンごとに保存されます。

～PROB(Probability)～

Setting 内の PROB セクションでは、選択した VOICE 内の選択した STEP が正確に再生される確率を調整できます。デフォルトではすべての STEP に PROB が適用される設定になっています。

PROB の設定方法

1. Setting ボタンを押します。
2. POROB(STEP KEY 9)を押します。
3. SELECT ボタンを使用し、PROB を適用したい VOICE を選択します。
4. STEP キーを使用し、PORB を適用する STEP を選択します。(適用されている STEP は LED が赤色に点灯します。)
5. DATA エンコーダーを使用し、0～100%の範囲で確率を設定します。(0 にすると VOICE は再生されません。また、VOICE ごと個別に確率パーセンテージの設定はできません。)
6. 設定が完了したら Setting ボタンを 2 回押して終了します。

PROB 設定を保存する際は、パターンの保存が必要です。

※STEP の設定はパターンごとに保存可能ですが、量 (0～100%) はグローバルに保存されます。

～FLAM～

Setting 内の FLAM セクションでは、選択した VOICE 内の選択した STEP に FLAM を適用できます。デフォルトでは全ての STEP に FLAM が適用される設定になっています。

FLAM が適用されるとドラマーが 2 本のスティックを使用して叩いているかのような効果が追加されます。

FLAM の設定方法

1. Setting ボタンを押します。
2. FLAM(STEP KEY 10)を押します。
3. SELECT ボタンを使用し、FLAM を追加したい VOICE を選択します。
4. STEP キーを使用し、FLAM を適用する STEP を選択します。(適用されている STEP は LED が赤色に点灯します)
5. DATA エンコーダーを使用し、0～24 の範囲で FLAM を設定します。(0=FLAM 無し、24=FLAM の最長)
6. 設定が完了したら Setting ボタンを 2 回押して終了します。

FLAM 設定を保存する際は、パターンの保存が必要です。

～RPT(NOTE REPEAT)～

Setting 内の RPT セクションでは、選択した VOICE 内の選択した STEP に RPT を適用できます。

RPT が適用されると設定した繰り返し数に応じてラチエットスタイルのロールが追加されます

RPT の設定方法

1. Setting ボタンを押します。
2. RPT(STEP KEY 11)を押します。
3. SELECT ボタンを使用し、RPT を追加したい VOICE を選択します。
4. STEP キーを使用し、RPT を適用する STEP を選択します。(適用されている STEP は LED が赤色に点灯します)
5. リピート数を TRIGGER ボタン横の数字ボタン(1/2/4/8)で選択します。
6. NOTE REPEAT ボタンを ON にするとリピートが ON になります。
7. 設定が完了したら Setting ボタンを 2 回押して終了します。

RPT 設定を保存する際は、パターンの保存が必要です。

～STEP SIZE～

Setting 内ではリズムパターンの STEP SIZE を変更することもできます。

選択可能な STEP SIZE は 1/8、1/8T、1/16、1/16T、1/32 となります。

STEP SIZE の変更方法

1. Setting ボタンを押します。
2. 変更したい STEP SIZE を選択します。(STEP KEY 12-16 から任意の物)
3. 設定が完了したら Setting ボタンを 2 回押して終了します。

STEP SIZE を保存する際は、パターンの保存が必要です。

～Setting について～

RD-9 の SETTING では MIDI や USB MIDI をはじめとする機能の設定を行うことができます。

SETTING ボタンを押し、任意の STEP ボタンを押すことで設定画面に入ることができます。

それぞれの設定画面に入ったら TAP/HOLD ボタンを押して設定項目を切り替え、DATA エンコーダーで内容を変更します。

詳しくは別紙 RD-9 Setting Guide をご覧ください。

Behringer 国内正規輸入代理店
株式会社エレクトリ
〒105-0022
東京都港区海岸 2-7-70
<https://www.electori.co.jp/>